3D書画カメラ

3R-SSA800AF

取扱説明書（保証書付）

スリー・アールシステム 株式会社

Copyright 2014 V1.00 3R Systems Corp.

目　次

はじめにお読みください
1.　安全上のご注意　1
2.　内容物のご確認　2
3.　書画カメラで出来ること　3
書画カメラを使うための準備
4.　書画カメラ各部の名称　4
4.1 書画カメラの調整機能　5
4.2 顕微鏡機能
5.　セットアップ　9
スキャン
6.　書画カメラの操作(基本編)　16
6.1 書画カメラの操作(静止画編)　16
6.2 書画カメラの操作(動画編)　19
7.　書画カメラの操作(画質調整)　22
7.1 書画カメラの操作(保存形式の変更)　22
7.2 書画カメラの操作(ウィンドウ左側の機能)　23
7.3 書画カメラの操作(ウィンドウ上部の機能)　25
7.4 書画カメラの操作(ウィンドウ下部の機能)　27
8.　書画カメラの操作(編集機能)　30
8.1 書画カメラの操作(描画機能)　31
8.2 書画カメラの操作(図形機能)　32
8.3 書画カメラの操作(文字機能)　34
8.4 書画カメラの操作(特殊効果の機能)　35
8.5 書画カメラの操作(画面キャプチャ機能)　36
8.6 書画カメラの操作(キャプチャの機能)　38
8.7 書画カメラの操作(色設定の機能)　41
8.8 書画カメラの操作(スライドショーの機能)　42
8.9 書画カメラの操作(消しゴムの機能)　43
8.10 書画カメラの操作(ツールの機能)　44
8.11 書画カメラの操作(計測機能)　46
その他
9.　その他の機能　53
9.1 その他の機能(タイマー撮影機能)　53
9.2 その他の機能(OCR 撮影機能)　55
9.3 その他の機能(各種設定)　57
困ったときは
10. 故障かな？と思ったら(Q&A)　59
11. 製品仕様　60
12. 3R 保証規約　61

1.安全上のご注意

このたびは、「書画カメラ」3R-SSA800AF をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書では、書画カメラ本体で撮影した画像をパソコンで簡単に補正・編集・保存ができる、付属の「Anyty Document Camera」書画カメラ専用ソフトをご案内いたします。
「書画カメラ」SSA800AF および付属の「Anyty Document Camera」書画カメラ専用ソフトをお使いいただく際には、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、本書はすぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。
「書画カメラ」3R-SSA800AF と「Anyty Document Camera」書画カメラ専用ソフトを、本書と共に末永くご愛用いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

思わぬ事故や損害を防ぐために
以下に記載された安全に関する内容をご覧になって使用を開始してください。

⚠ 警告：以下の項目は死亡や重症など重大な事故の恐れがある内容です。

- 書画カメラの光源用の LED を直視しないでください。あなたの視力に障害を及ぼす恐れがあります。
- 小さな部品があります。お子様の手の届く範囲で使用・保管しないでください。
- 書画カメラを不安定な場所で保管しないでください。
- 書画カメラがぬれた状態や、ぬれ手で使用しないでください。感電する恐れがあります。
- 製品を分解、改造しないでください。感電や火災の恐れがあります。
- 書画カメラの清掃にアルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

⚠ 注意：以下の項目はそれ以外の注意事項です。

- センサー部や可動部に指を入れないこと。

製品パッケージには以下の内容物が収められています。

3R-SSA800AF 本体

ソフトウェア CD-ROM（電子版マニュアル付）

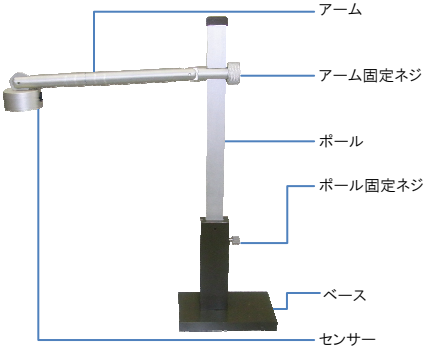
取扱説明書兼保証書(保証書付) 1冊

3.　書画カメラで出来ること

- 書類を簡単・手軽・綺麗にデータ化、利用シーンをさらに拡大
- さまざまな原稿を簡単に電子化。最大サイズ A3 サイズまで対応
- オートフォーカス機能により、より鮮明に原稿をデータ化
- イメージセンサー約 800 万画素により、クリアな画質
- 光学 20 倍までの、ズーム機能
- 音声録音可能なマイク付き
- 作業スペースを占有しないコンパクト設計
- 時間を無駄にしない高速起動・高速読み取り
- 最大 4 画面表示が可能なため、業務の効率 UP
- PDF 及び OCR 機能搭載
- タイマー撮影機能搭載により、ページをめくりながらの連続撮影も可能
- 付属のソフトウェアに便利な機能多数搭載
- 様々な場面で大活躍！仕事・プレゼンテーション・教育の現場などに

●本体各部の名称

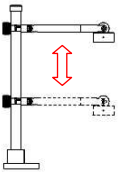
書画カメラ各部の名称は以下のとおりです。



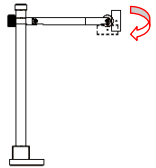
●アームの調整

アーム部分は 4 ヶ所可動します。対象物や撮影位置に合わせて調整します。

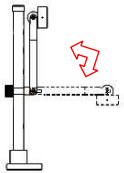
■アーム固定ネジで
アームの高さ調整



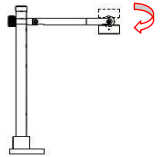
■センサーを動かして
センサー角度調整



■アームの関節を立てて
センサー角度調整



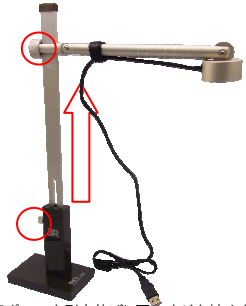
■センサーを回して
センサー角度調整



●ポールの調整

A3 サイズなど大きなサイズを撮影したい場合や遠目で撮影したい場合は本体のポール固定ネジを緩めてポールの高さ調整を行います。A3 で撮影したい場合は、ポールを引き伸ばし「A3」と記載されている場所に合わせます。
※ポールに記載されている「A3」目盛りは、あくまでも目安です。パソコンの画面上の大きさなどで多少の誤差が生じる事が、御座います。

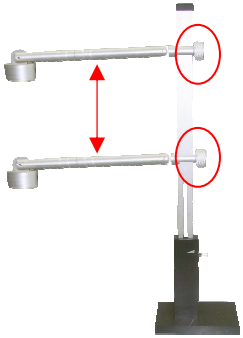
■ポール固定ネジを緩めます



■ポールを引き伸ばし固定ネジを締めます

●アームの調整

アーム固定ネジを緩めて高さを調整出来ます。ポールからアームを取り外すことも可能です。

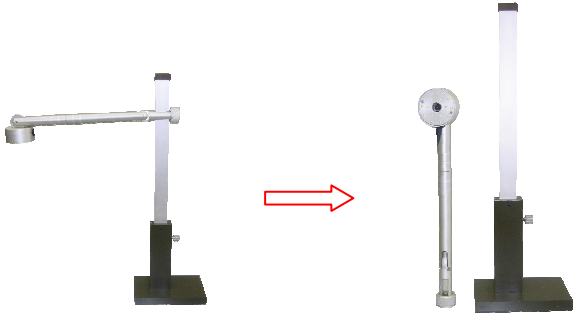


■アーム固定ネジを緩めます

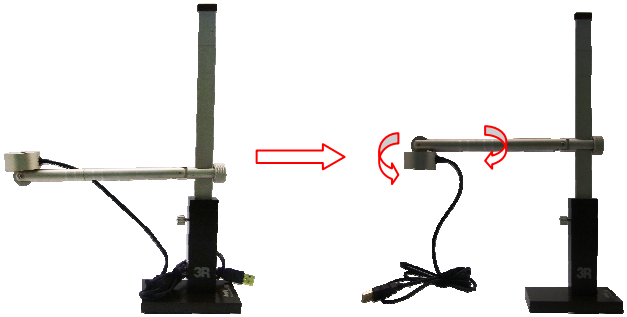
■ポールからアームを取り外す事が可能です

●顕微鏡機能

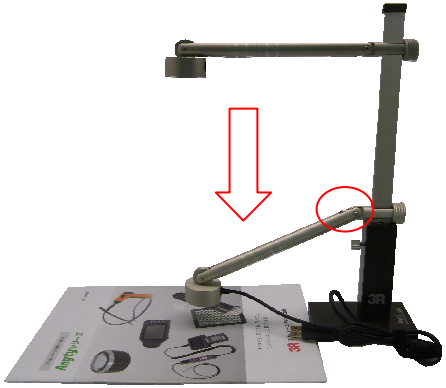
■本商品は、顕微鏡機能も使用できます。ポールからアームを取り外します



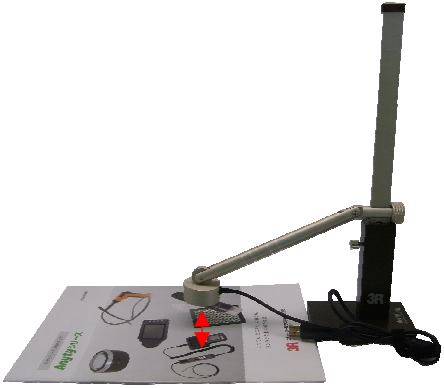
■センサーを上向きにして、アームをポールに取り付けます。アームを回してセンサーを下向きにします。



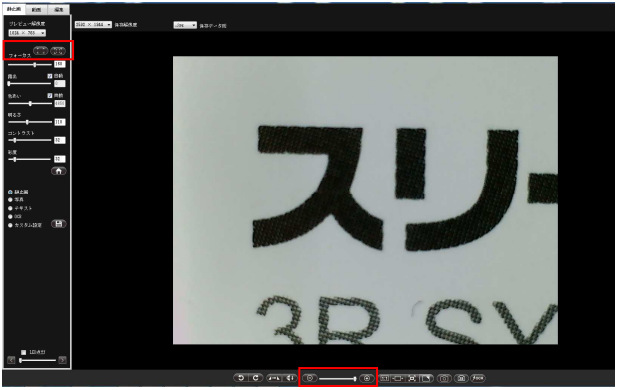
■センサーの角度を調整します。



■対象物からセンサーまで約 5cmに調整します。



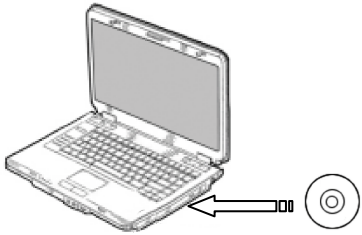
■付属のソフトウエア「Anyty Document Camera」を起動します。
※顕微鏡機能についてはインストール後、操作を行ってください。セットアップ(9 ページ)を参照してください。
静止画タブの「オートフォーカス」で対象物の焦点を調整し、ウインドウ下部の「画像の拡大縮小」を、プラスの方向にスライダし、調整します。
※「オートフォーカス」「画像の拡大縮小」は、書画カメラの操作(基本編)(16 ページ)を参照してください。



書画カメラの使用にあたってはお使いの PC に専用ソフトウェア「Anyty Document Camera」のインストールが必要です。

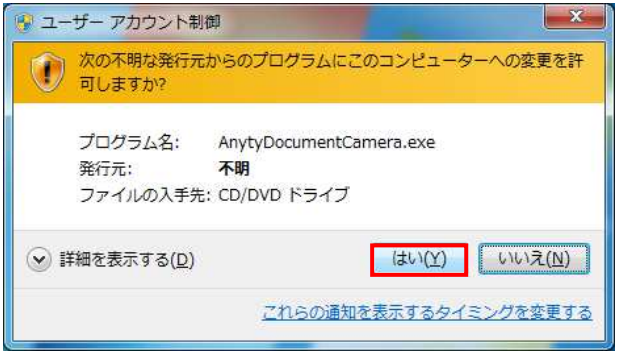
※本書では Windows7 の画面写真を例としております。

①お使いの PC に付属のインストール CD をセットします。まだ Anyty Document Camera 書画カメラの USB ケーブルは接続しないでください。



②「自動再生」ウィンドウが自動で表示されますので、「Anyty Document Camera Ver ～.exe の実行」を左クリックします。

③画面が暗転し「ユーザー アカウント制御」ウィンドウが表示された場合は「はい」を左クリックして続行してください。

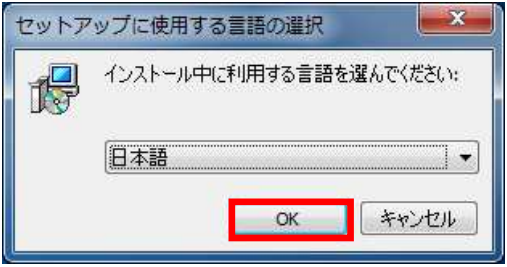


④お使いの PC のセキュリティ設定などにより自動再生で起動しない場合はエクスプローラーにある「3RDocuments～」のアイコンを右クリックして「開く」を左クリックしてください。
※④･⑤は「自動再生」が表示されなかった場合の操作となります。

5. セットアップ

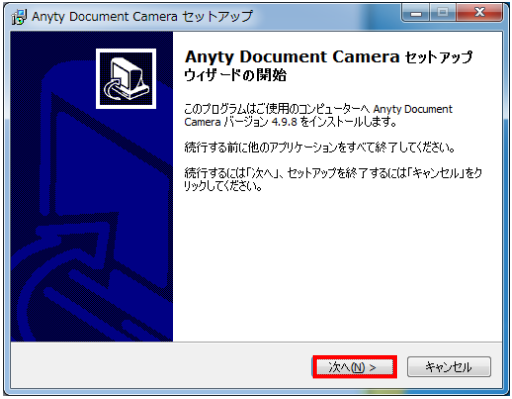
⑤CD 内のデータが表示されます。「Anyty Document Camera Ver ～.exe」をダブルクリックして実行してください。

⑥インストール時の言語を選択する画面が表示されます。「日本語」を選択して「OK」を左クリックします。

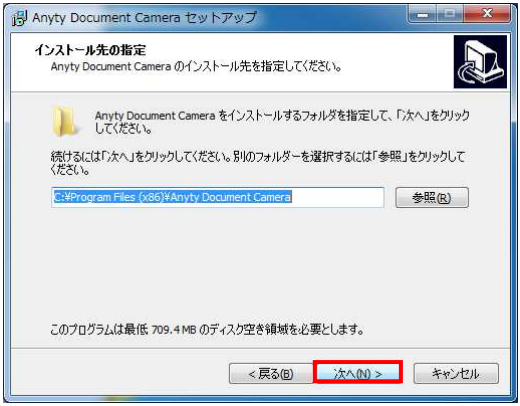


5. セットアップ

⑦Anyty Document Camera セットアップウィザードの開始の画面が表示されたら「次へ」を左クリックします。

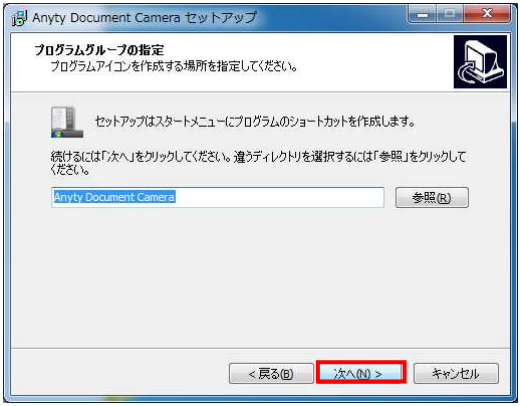


⑧インストール先の指定が表示されます、インストール先の指定がなければそのまま「次へ(N)」を左クリックします。



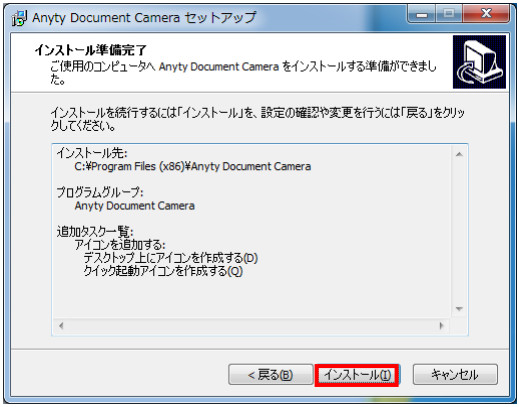
5. セットアップ

⑨プログラムグループの指定が表示されます。ショートカットの場所が作成される、表示された内容で宜しければ、そのまま「次へ(N)」を左クリックしてください。変更する場合は「参照」からショートカットを表示する場所を選択します。



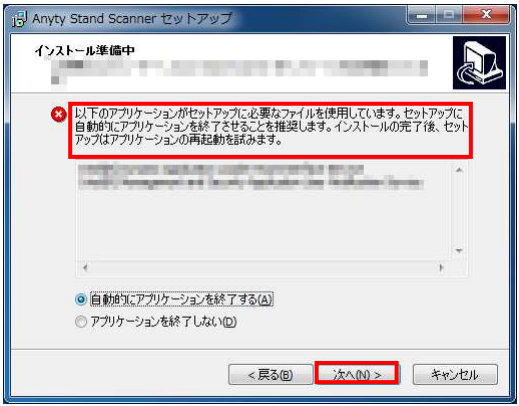
⑨追加タスクの選択が表示されます。任意でアイコン作成にチェックを入れ「次へ(N)」を左クリックします。

⑩インストール準備完了が表示されたらそのまま「インストール(I)」を左クリックします。



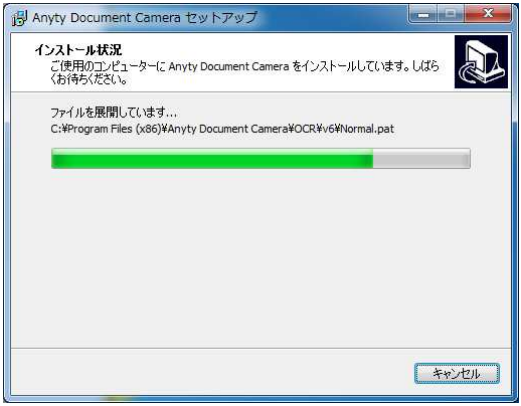
⑫「インストール準備中」が表示されたら「次へ(N)」を左クリックしてください。インストールが開始されます。

※この際にウィンドウ中央に「以下のアプリケーションがセットアップに・・・」というメッセージが表示されることがあります。その際は画面上に表示されたアプリケーションを閉じてから「次へ」を左クリックしてください。

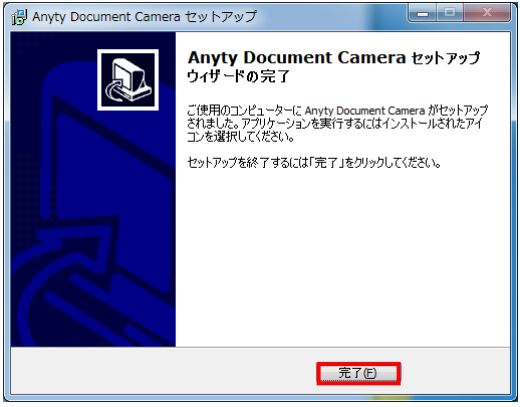


5. セットアップ

⑬「インストール」が終了するまでお待ちください。



⑭「Anyty Document Camera」セットアップウィザードが表示されたらインストールは完了です。「完了」を左クリックするとインストールプログラムが終了します。
※⑫で他のプログラムを手動で閉じた場合は再起動を行ってから「5. 書画カメラの操作(基本編)」に移ってください。

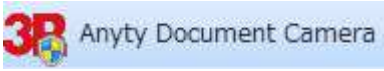


書画カメラの操作(基本編)ポイント
6.1 静止画編　16
6.2 動画編　19

6.1 静止画編

書画カメラのセットアップが完了したらまずは標準の状態で画像を保存してみましょう。

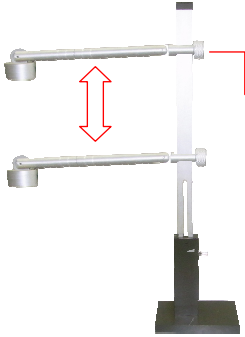
①インストールが完了したら書画カメラの USB ケーブルを PC の USB ポートに接続します。デスクトップのショートカットまたはスタートボタンの「すべてのプログラム」から「Anyty Document Camera」を起動してください。



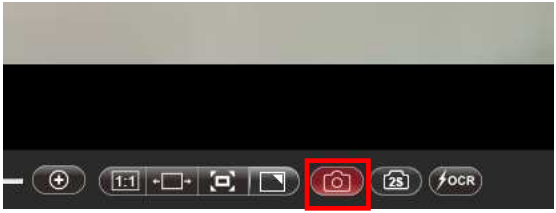
②「Anyty Document Camera」が起動します。以下のようなウィンドウが起動したことを確認してください。ウィンドウ中央に書画カメラの映像が表示されます。

6. 書画カメラの操作（基本編）

③ウィンドウに書画カメラの映像が表示されたら画面を見ながら書画カメラの位置を調節したり、原稿の位置を調節します。

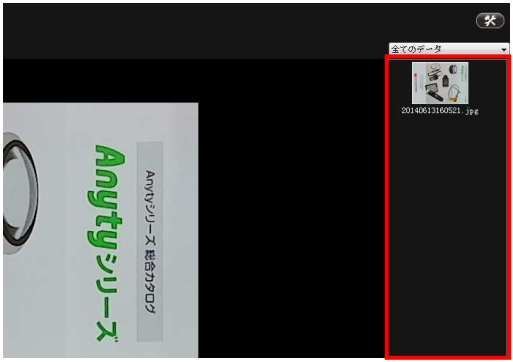


④撮影位置などを調整したらウィンドウ下部にある撮影ボタンを一回左クリックしてください。静止画を1枚撮影します。



6. 書画カメラの操作（基本編）

⑤撮影された画像は、ウィンドウ右側上部のサムネイルに表示されます。



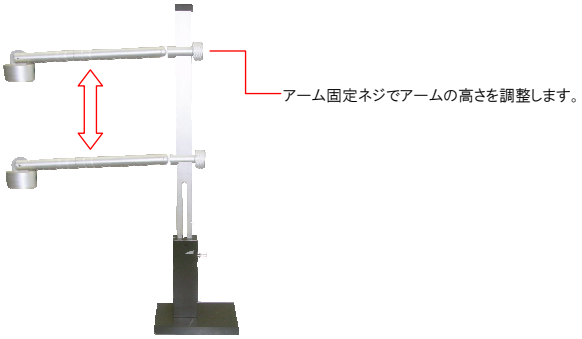
⑥サムネイルを右クリックして「フォルダを開く」をクリックすると保存フォルダが参照出来ます。

6.2 動画編

専用ソフトでは動画の撮影も可能です。以下の操作で動画の記録を行います。

①画面左上の動画タブを左クリックします。

②ウィンドウに書画カメラの映像が表示されたら画面を見ながら書画カメラの位置を調製します。原稿の位置を調節します。



6. 書画カメラの操作(基本編)

③撮影位置などを調整したらウィンドウ下部にある録画ボタンを一回左クリックしてください。動画の記録を開始します。

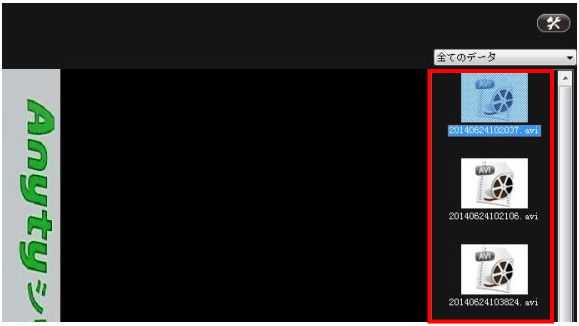
このボタンを左クリックすると録画が開始されます。

④録画ボタンを、もう一度左クリックをすると撮影を終了いたします。

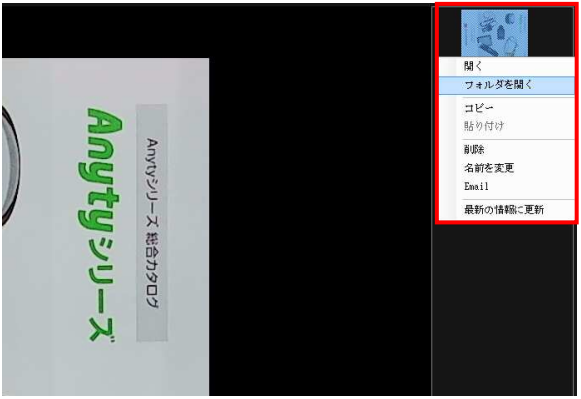
このボタンを左クリックすると録画が停止します。

6. 書画カメラの操作（基本編）

⑤撮影された動画は、ウィンドウ右側上部のサムネイルに表示されます。



⑥サムネイルを右クリックして「フォルダを開く」を右クリックすると保存フォルダが参照できます。

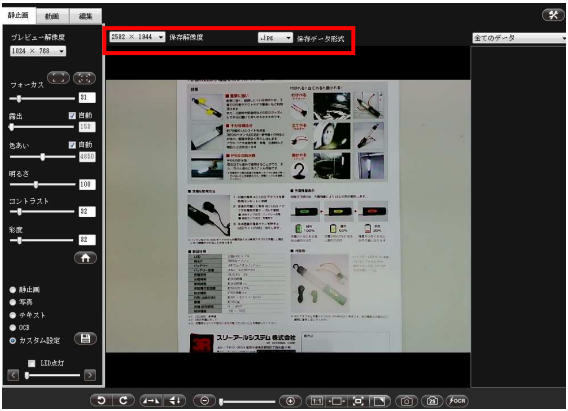


書画カメラの操作(画質調整)ポイント

7.1　保存形式の変更　22
7.2　ウィンドウ左側の機能　23
7.3　ウィンドウ上部の機能　25
7.4　ウィンドウ下部の機能　27

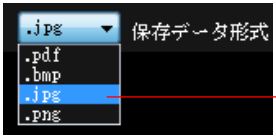
7.1 保存形式の変更

保存形式の変更の場合、静止画タブを左クリックします。静止画撮影時ウィンドウ上側には以下のような項目が表示されています。保存解像度・保存データ形式を選ぶことが可能です。



保存形式タブの各設定項目は以下の通りです。

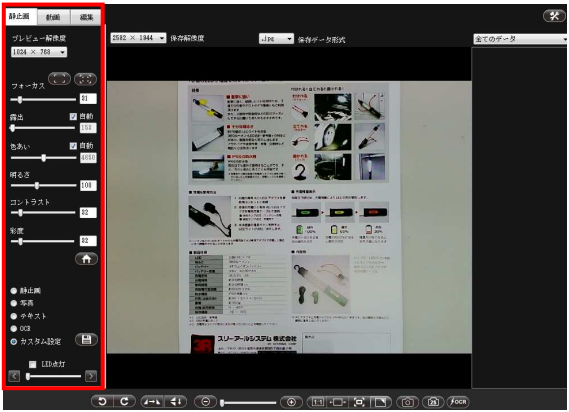
保存解像度の設定
静止画保存時の保存解像度を変更します。



保存データ形式の設定
静止画保存時の保存形式を
変更します。初期設定は
jpg 画像です。

7.2 ウィンドウ左側の機能

静止画・動画撮影時ウィンドウ左側には以下のような項目が表示されています。各項目で書画カメラの焦点調整や画質調整が可能です。



7. 書画カメラの操作(画質調整)

ウィンドウ左側の各設定項目は以下の通りです。

■プレビュー解像度の設定
ウィンドウ上の表示解像度を変更します。保存データの解像度には影響しません。

■オートフォーカス・
このアイコンを左クリックすると 1 回焦点調整を行います。

■連続フォーカス・
このアイコンを左クリックする。画面の映像に合わせてその都度オートフォーカスを自動実行します。解除を行う場合は、もう一度アイコンを左クリックします。

■フォーカス(手動)
スライダを動かして手動で焦点調整を行います

■露出
露出を調整します。手動で調整する場合は「自動」のチェックを外します。

■色合い
色合いを調整します。手動で調整する場合は「自動」のチェックを外します。

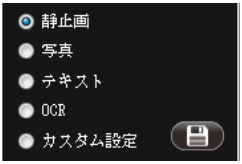
■明るさ
画像の明るさを調整します。

■コントラスト
コントラストの強弱を調整します。

■彩度
色の鮮やかさを調整します。

7. 書画カメラの操作(画質調整)

■ホーム
調整した値を初期設定に戻すには「ホーム」ボタンを左クリックします。



静止画タブの下部には画質設定のプリセット設定が表示されています。「静止画」「写真」などの各項目を選択するとあらかじめ写真に適した効果やOCR に適した効果などを出します。色合い・明るさ・コントラスト・彩度を任意に調整した後保存ボタンを押すことで保存されます。

■LED 点灯
書画カメラには光源用に LED が搭載されてます。「LED 点灯」にチェックをいれスライダで明るさを調整します。

7.3 ウィンドウ上部の機能(編集モードのみ)

■新規作成
新規作成アイコンです。

■開く
選択したファイルを開く事が出来ます。

■保存
選択したファイルを保存する事が出来ます。

■別名保存
選択したファイルを別名で保存する事が出来ます。

■コピー
コピーしたい画像を選択(移動アイコンで選択の状態)

7. 書画カメラの操作(画質調整)

■切り取り
切り取りたい画像を選択(移動アイコンで選択の状態)

■貼り付け

コピー及び切り取りした画像を貼り付けます

■印刷
印刷する事が出来ます。

■PDF
PDF ファイルで保存する事
が出来ます。

■ゴミ箱
削除が出来ます。

■メール
お使いの PC に Outlook をインストールを行うと、Outlook で選択したファイルを使用することが出来ます。

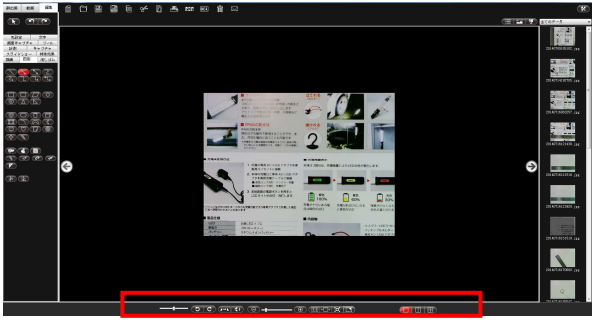
■スライドショー
サムネイルで表示された画像が 3 秒ごとに切り替わります。

■サムネイル
サムネイル表示されます。

■一覧表示
一覧表示画面に切り替わります。

7.4 ウィンドウ下部の機能

ウィンドウ下部にあるアイコンの各機能は以下の通りです。



■回転機能
このアイコンを左クリックするとウィンドウの映像を90 度回転または左回転します。

■反転機能
このアイコンを左クリックすると水平方向又は垂直方向にウィンドウの画像を反転します。

■画像の拡大縮小
ウィンドウに表示されている画像の拡大縮小を＋・－アイコンまたはスライダで行います
※保存画像には反映されません。

7. 書画カメラの操作(画質調整)

※編集モードのみ機能します。

■フルスクリーンアイコンを左クリックするとウィンドウに表示された画像がフルスクリーンになります
※終了する場合は、キーボード左上の「ESC」を押してください。

■画像のサイズをあわせるアイコンを左クリックすると、ウィンドウに表示された画像のサイズに合わせる事が出来ます。

■画像サイズの幅をあわせるアイコンを左クリックするとウィンドウに表示された画像のサイズの幅を合わせる事が出来ます。

■画像サイズを元に戻すアイコンを左クリックするとウィンドウに表示された画像のサイズが元に戻ります。

■撮影機能(静止画のみ)
14 ページ「書画カメラの操作(基本編)」

■タイマー撮影機能(静止画のみ)
49 ページ「タイマー撮影機能」

■OCR 機能(静止画のみ)
51 ページ「OCR 撮影機能」

■動画撮影機能(動画のみ)
17 ページ「書画カメラの操作(動画編)」

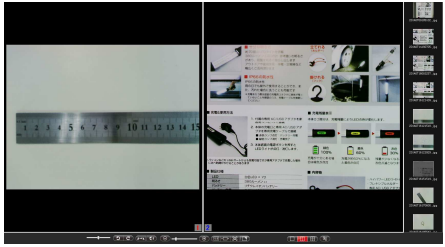
7. 書画カメラの操作（画質調整）

※編集モードのみ

■シングルウィンドウ
通常の 1 画面の表示。

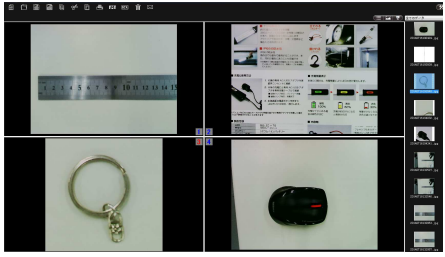
■2 画面表示
画面を 2 画面表示できます。

以下のような、画面が表示されます。それぞれの画像をクリックすると選択された画像番号が赤色に変化します。この時にサムネイルの静止画をダブルクリックすると該当番号のウィンドウに画像が挿入されます。



■4 画面表示
画面を 4 画面表示できます。

2 画面表示と同じ操作で 4 画面の表示も可能です。



■編集のロック
一部の編集をロックします。
画像の拡大、縮小、回転を一時的に使用できなくします。

書画カメラの操作（画質調整）ポイント

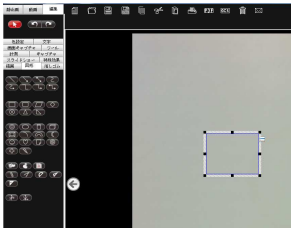
8　編集機能　30
8.1 描画機能　31
8.2 図形機能　32
8.3 文字の機能　34
8.4 特殊効果の機能　35
8.5 画面キャプチャの機能　36
8.6 キャプチャの機能　38
8.7 色設定の機能　41
8.8 スライドショーの機能　42
8.9 消しゴムの機能　43
8.10 ツールの機能　44
8.11 計測機能　46

本製品付属のソフトウェアには静止画の編集機能が搭載されています。ウィンドウ左側の編集タブを左クリックするかウィンドウ右側の静止画のサムネイルをダブルクリックしてください。編集画面が表示されます。

編集機能のウィンドウに、以下のようなアイコンが表示されます。

■選択アイコン
編集したい図形などを選択する場合に使用するアイコンです。

8. 書画カメラの操作（編集機能）



例
※図形タブの「□」を使用
図形などを作成した後に選択アイコンを左クリックして、図形を選択する。任意の場所にドラック＆ドロップを行うと、図形を移動する事が出来ます。
※図形以外にも対応可能です。

■取り消し・やり直し　アイコン
1つ前または1つ先の作業に戻ります。

編集ウィンドウは複数のタブがありそれぞれのタブを左クリックで切り替えて使用します。各項目の機能は以下のとおりです。

8.1 描画機能

「描画」タブの描画機能では編集中の画像に線を書き込む事が出来ます。描画機能ではえんぴつ・ペンなど各種のブラシツールが搭載しております。

■えんぴつのアイコン

■ペンのアイコン

■筆のアイコン

■チョークのアイコン

■ブラシのアイコン

8. 書画カメラの操作(編集機能)

■上のレイヤー・下のレイヤー

※キャプチャで作成した画像のみ階層の移動ができます。

キャプチャ機能で選択した画像を張り付け後、選択したい画像を、移動アイコンで左クリックする。その後「上のレイヤー」「下のレイヤー」どちらかを左クリックすると選択されたレイヤーが表示されます。

8.2 図形機能

「図形」タブのアイコンをクリックする事で編集中の画像に線や図形を書き込む事が出来ます。

■線の種類
様々な線を書き込む事が出来ます。

■図形の種類
様々な図形を書き込む事が出来ます。

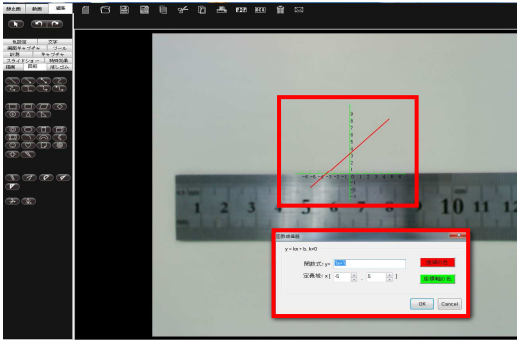
8. 書画カメラの操作(編集機能)

■デザインの種類
様々なデザインを書き込む事が出来ます。

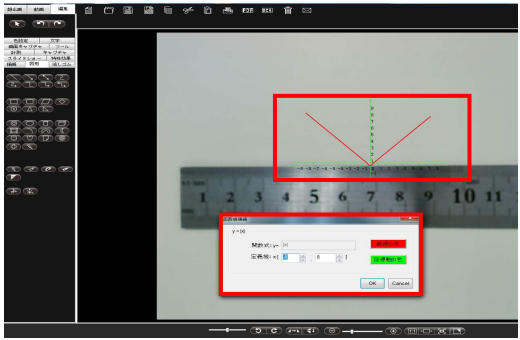
■計測の種類
様々な計測を行う事が出来ます。

■数値の計測
「1次関数」「絶対値関数」を選択する事が出来ます。

■1 次関数
任意の場所をダブルクリックすると 1 次関数の図形と「関数式」「定義域」が表示されます。選択アイコンに切り替えて画像のプロパティから関数式の変更が可能です。



■絶対値関数
任意の場所をダブルクリックすると 1 次関数の図形と「関数式」「定義域」が表示されます。選択アイコンに切り替えて画像のプロパティから関数式の変更が可能です。



8.3 文字の機能

「文字」タブのアイコンをクリックすることで編集中の画像に文字を書き込む事が出来ます。

■テキストの挿入
文字を書き込む事が出来ます。

■画像挿入
画像ファイルを挿入します。選択したファイルを読み込む事が出来ます。

■フォント
テキスト挿入時のフォントを変更する事が出来ます。

8.4 特殊効果の機能

「特殊効果」タブでは編集中の静止画に特殊な効果を加えることが可能です。

■階調の反転機能
画像の階調を反転します。

■2 階調化機能
白黒のみの画像に変換します。

■グレースケール機能
カラー画像をグレースケールにします。

■背景削除機能
背景の色を自動判別して削除する機能です。

■拡散機能
画像に拡散を与えます。

■エンボス機能
文字や絵などを浮き上がらせる加工を加えます。

■ノイズ機能
画像にノイズを与えます。

■浸透機能
輪郭を強調するような効果を加えます。

■ぼかし機能
ぼかし効果を加えます。

■コントラスト補正機能
コントラストを自動補正します。

■赤目除去機能
赤目を低減するフィルタを実行します。

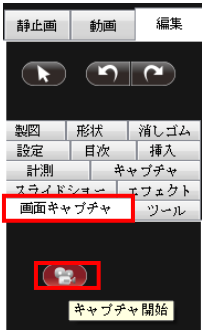
■エッジの抜き出し機能
輪郭部分のみを抜き出した画像に変換します。

■膨張機能
ベースの色を自動判別して全体に加えます。

8.5 画面キャプチャ

■キャプチャ開始機能

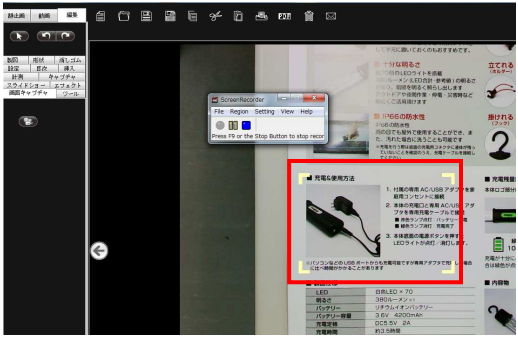
選択した範囲を録画撮影出来ます。



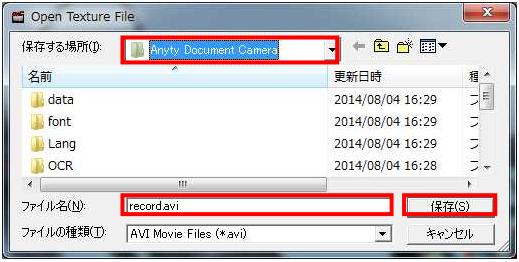
「ScreenRecorder」が表示されたら「Ready」を左クリックします。

8.　書画カメラの操作（編集機能）

録画したい範囲を選択します。停止する場合は「Stop」を左クリックします。



以下のような画面が表示されたら、任意の場所に撮影したファイルを保存します。



8.6 キャプチャの機能

「キャプチャ」=「切り抜き効果」タブでは編集中の静止画にキャプチャ効果を加えることが可能です。

※パソコン画面全体をキャンパスとした任意の範囲をキャプチャします。キャプチャ(カット)時に Anyty Document Camera アプリ画面を非表示もしくは表示したままにするかを選べます。

■カット時にウィンドウを隠すにチェックを入れている場合。
別ウィンドウの表示が切り替わり、作業が出来ます。

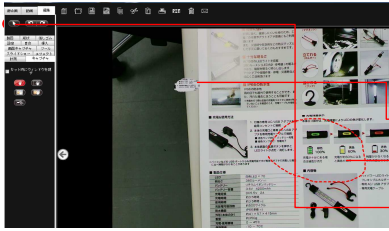
■カット時にウィンドウを隠すにチェックを外している場合。
現在のウィンドウのまま、作業が出来ます。

※掲載されている下記の内容は、「カット時にウィンドウを隠す」にチェックを外している場合です。

■自由な形
選択範囲を指定した場所が切り抜かれます。

① 選択したい場所を選び左クリックでドラックする。
② 選んだ場所が抜き取られます。
③ 抜き取った部分を移動する場合は③を選択して移動できます。

8. 書画カメラの操作（編集機能）



■長方形
選択範囲が長方形に切り抜かれます。

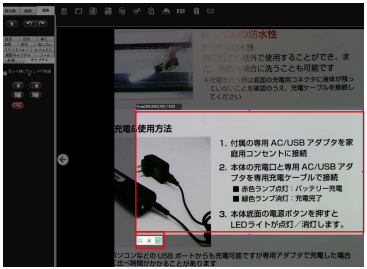
■ウィンドウ指定
指定したウィンドウが切り抜かれます。
※起動中に指定したアプリケーションのウィンドウ内だけをキャプチャして編集画面上に表示します。

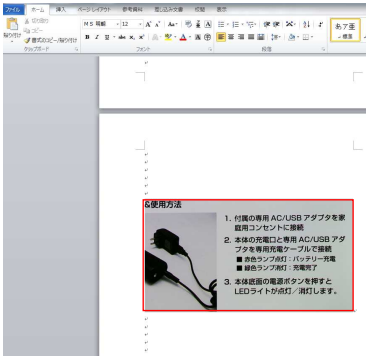
■スクリーン全体
スクリーン全体が切り抜かれます。
※パソコン画面全体に表示されている画像をそのまま編集画面上に表示します。

■画面キャプチャ
選択した範囲が切り抜かれます。その後下記のアイコンをクリックすると、ワード・エクセルに選択した画像を貼り付ける事が出来ます。

■ワードもしくはエクセルを起動する。画面上で右クリック「貼り付け」を選択すると、先程のウィンドウ上で選択された画像がワードに貼り付けられます

8.　書画カメラの操作（編集機能）





■保存
選択された範囲が、保存出来ます。

■カット
カット機能、選択した範囲をカットする事が出来ます。
※画面キャプチャと操作は同じですが、キャプチャ範囲がパソコン画面全体ではなく、編集画面範囲内（赤枠）の制限がかかります。編集画面内を任意にキャプチャする場合に使用します。

8.　書画カメラの操作（編集機能）

■選択した範囲をカットできます。

■選択した範囲を保存できます。

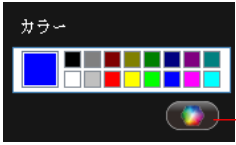
8.7 色設定の機能

編集機能で作成する文字や線の色を変えるには「色設定」タブの以下の各項目から変更します。

■線の種類（描画機能・図形機能を）
線の種類を選ぶアイコンです。

■線の幅（描画機能・図形機能）
線の幅をスライダで調整します。

■透明度（描画機能のみ）
透明度をスライダで調整します。



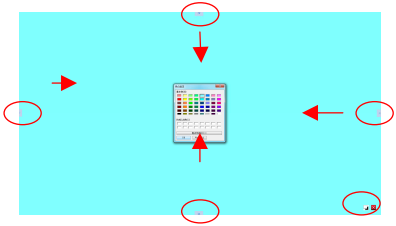
■カラー（描画機能・図形機能・文字の機能を）
文字や線の色を変更する場合はこの項目内の
カラーパレットを左クリックしてください。また「その
他」を左クリックすると任意の色を選択可能です。

8.8 スライドショーの機能

■フルスクリーン
スクリーン全体が、黒一色になります。

■クローズアップ
スクリーン全体が、黒一色になります。その後マウ
スをスクロールして選択したい範囲を選択します。
画面上に切り抜かれた画像が表示されます。
※切り抜かれた画像は、移動・保存することは出
来ません。

■カバー
スクリーン全体が、黒一色になります。その後画
面右下のカラーアイコンを左クリックする。カラー
パネルが表示されるので、お好き色を選びます。
画面上選択された色が表示されます。色の拡大
縮小を行う場合はウィンドウ上、四方の矢印のア
イコンを左クリックしてドラック＆ドロップすると色を
拡大縮小することが出来ます。



■スポットライト
スクリーン全体が、グレー色になります。その後画面右下の図形アイコンを左クリックする。選択された図形の形になります。
※図形の枠を移動するには、表示された画像を左クリックしてドラックしていただくと、図形の枠は移動します。

8.9 消しゴムの機能

■消しゴム
左クリックでスライダすると、選択された範囲が消されます。
※マウスでドラックしている範囲が削除されます。
編集にて追加したテキスト、画像、計測表示の削除が可能です。キャプチャ画像は削除されません。

■自由選択
消しゴム機能同様、選択された範囲が消しゴム機能よりも大きく消されます。

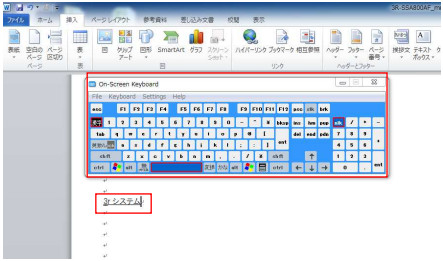
■長方形
選択された範囲が長方形に消されます。

■対象物
ウィンドウ上の表示画面に別の画像等がある場合対象となった画像を消すことが出来ます。

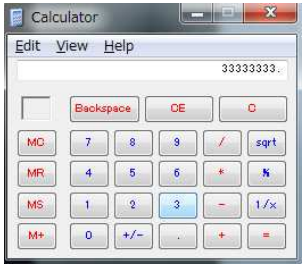
■消しゴム削除
全ての消しゴム機能を、元に戻すアイコンです
※消しゴム操作を終了します。

8.10 ツールの機能

■キーボード
キーボードのアイコンがウィンドウ上に現れます。



■電卓
キーボードのアイコンがウィンドウ上に現れます。



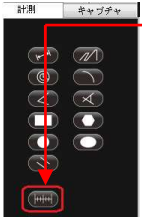
8. 書画カメラの操作（編集機能）

■乱数
以下のようなアイコンが表示され「Start(S)」を左クリックするとスロットマシンのように数字が表示されます。

■時計
以下のようなアイコンが表示され、時刻を確認する事が出来ます。

8.11 計測機能

正確な計測を行うため最初に寸法補正を行います。
スキャナの画面上に定規を撮影し、定規のメモリを基準に補正をかけます。



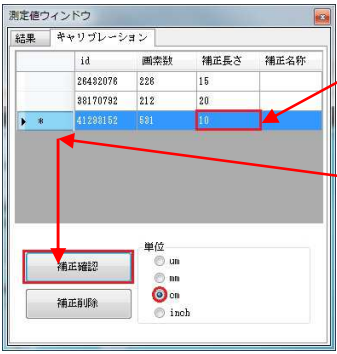
①[寸法補正]アイコンをクリックします。

②スキャナ画面上でマウスのドラック&ドロップ操作で基準線を引きます。
定規のメモリに沿って 10mm や 10cm の線を引きましょう。

③線が引かれると測定値ウィンドウが表示されます。
最新のレコードが一番下に追加されます。

④最新のレコードを選択します。
選択するときは一番左の列の一番下のセルを

クリックします。
選択中のレコードは▲マークが表示されます。



⑤基準線の長さを該当レコードの「補正長さ」を入力します。
定規のメモリの単位と同じ「単位」を選択します。

⑥編集中のレコードを確定します。
一番左の列の一番下のセルをクリックします。
[補正確認]をクリックします。
▲の右側に＊が表示されれば補正完了です。
測定値ウィンドウ右上の×にてウィンドウを閉じます。

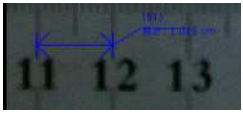
⑦実際に計測線、記号を書き込む場合は、寸法補正以外のアイコンを選択し画面に書き込みます。

※不要なレコードが残っている場合は id の左のセルをクリックし[補正削除]にて削除することが可能です。

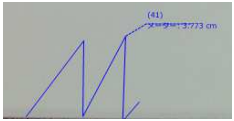
※不要な基準線が残っている場合は選択アイコンをクリック後、削除することが可能です。

8. 書画カメラの操作(編集機能)

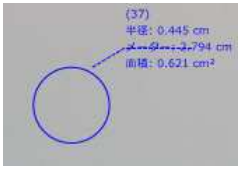
■直線
直線を計測するアイコンです。



■折れ線
計測したい場所を左クリックでドラックして選択します。計測を止める場合は右クリックで終了する事が出来ます。

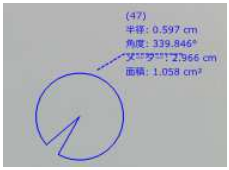


■同心円
同心円の半径・メーター・面積を計測する事が出来ます。



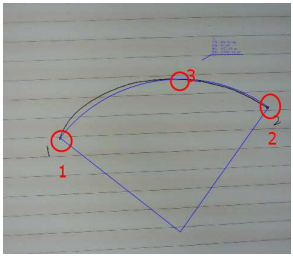
8. 書画カメラの操作(編集機能)

■円弧
円弧の半径･角度･メーター･面積を計測する事が出来ます。



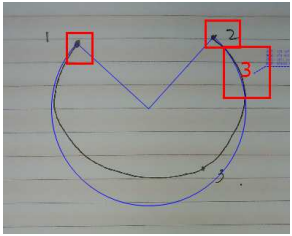
円弧の計測方法

例①

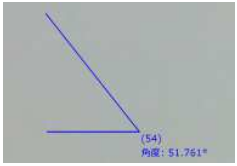


例　ノートに弧を描きます。※テキストデータの弧を使用しても構いません。
弧の両端を①②左クリックする。弧の座標となる部分を左クリックする円弧を計測する事が出来ます。

例②

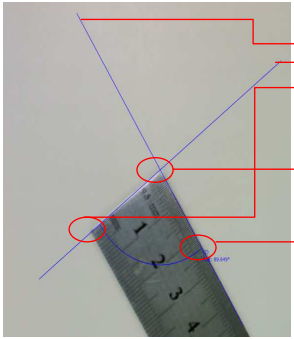


8. 書画カメラの操作(編集機能)



■角度
角度を計測するアイコンです。

■4 点の角度
計測したい範囲の角度を決め、任意の場所に角度を求める 2 辺にそれぞれ線を引きます。
※例　A の辺を①②　対角を、求める角度 B の辺を③④と表します。



A のライン

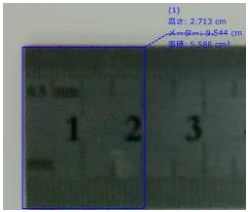
B のライン

角度を求めたい(①)1辺の線にあわせます(A のライン)

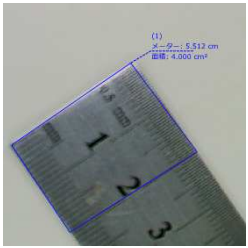
角度を求めたい(②)1辺の線にあわせます(A のライン)

対角となる線を引き(③)角度を求めたい任意の場所に(④)左クリックします。

8. 書画カメラの操作（編集機能）



■長方形
長方形の高さ･メーター･面積を計測する事が出来ます。



■多角形
多角形のメーター･高さを計測する事が出来きす。
※多角形の最終の辺はマウスを左クリックすることでカーソルのポイントから開始点までに直線が引かれ測定値が表示されます
計測を止める場合は右クリックで止めるが事が出来ます。

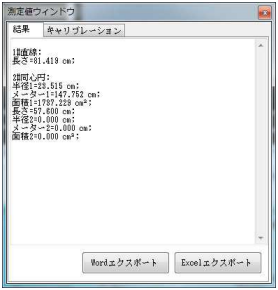
■円
円の半径･メーター･面積を計測することが出来ます。

8. 書画カメラの操作(編集機能)

■楕円
楕円の長い直径･短い直径を計測することが出来ます。

■平行線の距離

平行線の距離の長さを計測します。



■測定結果を Word または Excel へ簡単に出力できます。
※エクスポート機能を利用するには Office2007 以上の環境が必要になります。

8. 書画カメラの操作(編集機能)

編集機能で編集した画像を、ウィンドウ左上の「保存」「別名で保存」で保存します。

■保存
編集内容を開いた画像に上書き保存します。

■別名で保存
編集内容を新しい名前を付けて別のファイルとして保存します。

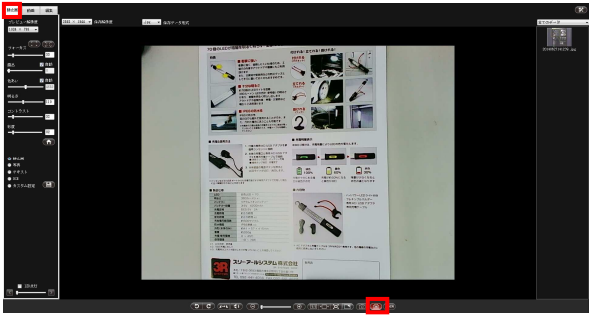
■PDF
PDF 形式で保存します。
※この機能では文字も画像データとして保存します。

その他の機能
9.1 タイマー撮影機能 53
9.2 OCR 撮影機能 55
9.3 各種設定 57

9.1 タイマー撮影機能

連続で静止画を記録する場合などはタイマー機能を使うと一回の操作で自動撮影が可能です。

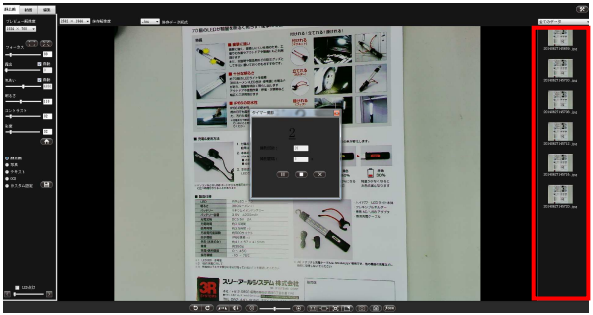
①静止画モードでウィンドウ下部にあるタイマー撮影ボタンを左クリックしてください。



タイマー撮影アイコン

②タイマー撮影の設定ウィンドウが表示されますので撮影回数、撮影間隔を設定してウィンドウ左下の「スタート」アイコンを左クリックしてください。

③タイマー撮影が開始されます。実行中はタイマー機能ウィンドウが表示されます。途中で停止したい場合は「停止」を左クリックします。

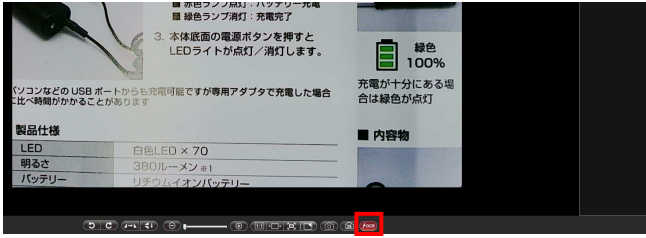


9.2 OCR 撮影機能

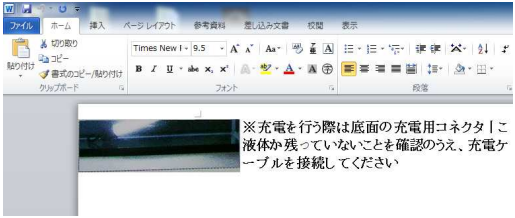
文書などをスキャンしてテキストデータを作成したい場合は OCR 機能をお試しください
OCR 機能は静止画撮影中と編集中それぞれで実行可能です。

●静止画撮影中から実行する場合
※静止画撮影中の OCR の実行には Microsoft Word 2007 以上が必要です。

①OCR を実行したい部分を画面に表示した状態でウィンドウ下部の「OCR」を左クリックします。



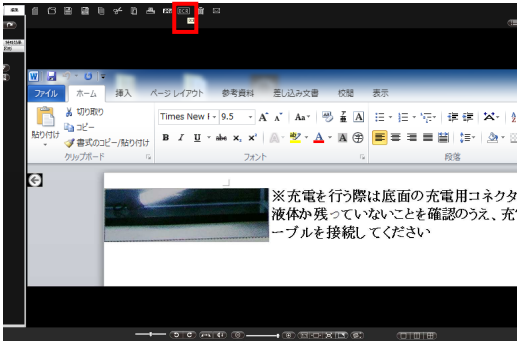
②画像が保存され OCR が開始されます。画像などによっては処理に時間がかかる場合があります。
OCR が完了すると実行結果が貼り付けられた状態で WORD が起動します。



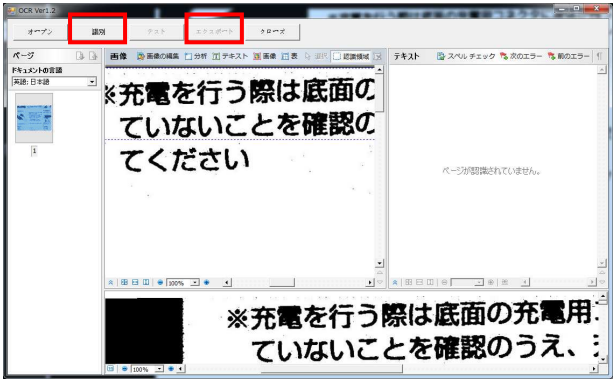
その他の機能

●編集モード(ウィンドウ上部部分)から OCR を実行する場合

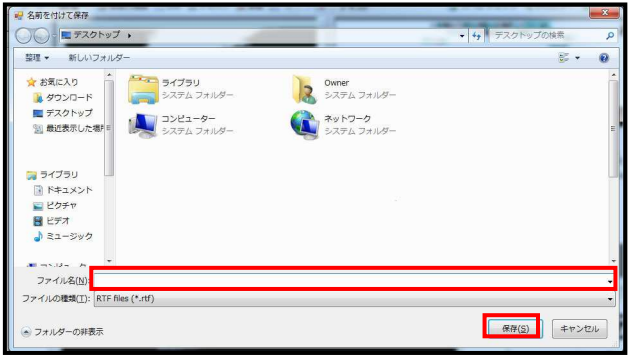
①画像を表示した状態で編集ウィンドウ上部にある「OCR」を左クリックします。



②OCR 用のウィンドウが表示されますのでまず「識別」を左クリックします。OCR を開始します。実行結果が表示されたら「エクスポート」を左クリックします。



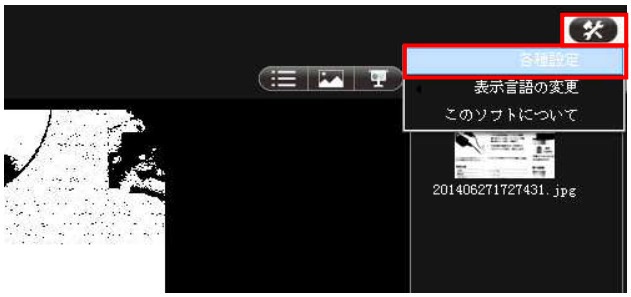
③実行結果は rtf 形式で保存されます。任意のファイル名を付けて OCR の実行結果を保存します。



9.3 各種設定

付属ソフトで変更できる設定項目は以下のとおりです。

●各種設定
ファイルのデフォルトの保存先を変更したいときはウィンドウ右上のアイコン内の「各種設定」をクリックします。



その他の機能

①保存先の変更
設定の「保存先1」「保存先 2」では撮影時のデータの保存先の変更が可能です。

※「画質設定」の項目は通常変更しないで下さい

②表示言語の変更
ソフト上の表示言語を変更したい場合にはウィンドウ右上のアイコン内の「表示言語の変更」から選択します。

10. Q&A

Q. インストール CD をセットしても反応がない
A. お使いのセキュリティソフトの働きなどにより CD からの自動起動がブロックされている可能性があります。エクスプローラーより CD 内を参照し「Anyty_Stand_Scanner_Ver4.9.2.exe」を直接実行してください

Q. ソフトウェアのインストール中に止まってしまう。起動しても反応がない
A. お使いのセキュリティソフトの働きなどによりインストールプログラムがブロックされることがあります。ソフトウェアのインストール時はセキュリティソフトを一時的に無効にしてください。またログイン中のユーザーにインストールの権限がない場合があります。この場合はシステムの管理者にご相談ください。

Q.ソフトウェアを起動しても「USB 接続デバイスが見つかりません」と表示され使用することが出来ない
A.書画カメラ本体が PC に正しく接続されているかどうか確認してください。また USB ハブなどを介している場合は PC の USB ポートに直接接続します。環境によっては書画カメラと Web カメラが競合して正常に動作しない場合があります。Web カメラが取り外し可能な場合は取り外してお試しください

Q.OCR 機能の精度を高めたい
A.以下のような点をご確認ください
・出来る限り書画カメラのセンサーを近づけて文字を大きく撮影する
・センサーを水平にします。原稿の向きを調整し文字が垂直に写るようにする
・撮影画像は白黒またはグレースケールに変換する
・撮影画像の明るさのムラを少なくし一定になるようにする

イメージセンサー	約 800 万画素 CMOS センサー
光源	白色 LED x16 、環境光
フォーカス	オートフォーカス機能あり、手動
焦点距離	約 40mm～375mm
デジタルズーム	約 1.5 倍～約 3 倍 ※保存画像には、反映されません
ホワイトバランス	自動
露出	自動、手動
最大原稿サイズ	A3(297×420mm)
最大保存解像度(静止画)	3200×2400 ピクセル
最大保存解像度(動画)	2048×1536/15fps
保存ファイル形式(静止画)	JPEG、PNG、BMP
保存ファイル形式(動画)	AVI
保存ファイル形式(その他)	PDF、rtf(OCR の場合)
OCR 機能	あり(付属ソフトウェア)
インターフェース	USB2.0
電源	USB ポートより
サイズ	約 250x70x340mm(伸長時最大 420mm)
重量	1120g

●付属ソフト Anyty Document Camera 動作要件

対応 OS	Windows8.1(64bit/32bit) 8 (64bit/32bit) 7 (64bit/32bit) 、 WindowsVista(64bit/32bit)
CPU	Intel Core 2 Duo 1.6GHz 相当以上
メモリ	2GB 以上の物理メモリ
ハードディスク	20GB 以上の連続した空き領域
グラフィック	WDDM 1.1 以上に対応したグラフィック機能を推奨
インターフェース	USB2.0 必須
光学ドライブ	ソフトウェアのインストールに必須

※本書に記載されている仕様などは商品改善のため予告なく変更されることがございます

12. 3R 保証規約

本保証規定はスリー・アールシステム株式会社（以下弊社）が製造した製品（以下製品）が故障した場合の保証内容について明記したものです。弊社は弊社取扱の製品の故障についてこの保証規定に基づいて修理・交換を致します

●保証期間

製品の保証期間はお買い上げ製品の保証書、または取扱説明書を参照ください。保証期間の開始日はご購入日からと致します

●保証範囲

保証期間中に付属の取扱説明書に基づいた正常な環境、使用方法にて故障した場合、弊社は無償にて製品の修理、交換を行います

また製品は日本国内にて販売しているものであり、保証は日本国内においてのみ有効です。海外への保守・サポート等の対応、修理品の海外発送等は一切致しません。保証期間内であっても以下の事項に該当する場合、保証規定の対象外となります

1 レシート等お買い上げ日が確認できるものを弊社に提示出来ない場合。また保証書のある製品において保証書が提示されない場合

2 オークション等の個人間売買などを含む中古販売によって入手した製品

3 お買い上げ後の移動、輸送時の落下や衝撃などにより生じたもの

4 お取扱時の不注意や誤った使用方法による破損

5 お客様にて分解、改造を行った製品、また弊社以外で修理、分解を行った事のある製品

6 お買い上げ製品に接続した機器やケーブルなどによる故障、また付属品・オプションなどの専用品以外の機器を使用したことによる故障

7 取扱説明書等で示された使用環境、使用条件を満たさない状態での使用、過度の連続使用など環境による故障

8 取扱説明書等の注意事項、警告事項が守られない状態で起こった使用方法による故障

9 火災、地震、水害などの天災による故障、また戦争、騒乱などによるもの

●免責事項

1 部品の経年劣化による故障や付属品の交換等にこの保証は適用されません

2 製品の使用によって生じた直接的、間接的な損害などについて、弊社は製品の故障・障害によるものかに関わらず一切の責任を負いません

3 製品は将来発表されたハードウェア・ソフトウェアとの互換性は保証致しません

4 通常使用時、故障時、また修理時における製品内部等に保存されたデータの消失、破損について弊社は一切の責任を負いません。データにつきましてはお客様の責任においてのバックアップ等をお願い致します

5 製品の中には寿命、使用時間などが設定された部品が使用されている事があります。これは使用頻度や使用環境などによって実際の寿命、交換時期とは前後します。場合によっては保証期間内であっても部品交換が有償となる事があります

●注意事項

1 弊社が日本国国内において正規に販売、取扱したものに関してのみ保証は有効です。並行輸入品や弊社が正規に取扱いしていない商品について弊社は修理、交換は致しません

2 弊社製品につきまして出張、訪問による修理やサービスは行っておりません

3 お預かり時等、輸送時による破損・紛失等につきまして弊社は責任を負いません

4 修理、交換が難しいと弊社が判断する場合、同等品、後継品への交換にて対応することがあります

5 修理、交換品の保証期間につきましてはお買い上げ時の保証の期限、もしくは修理、交換品の発送日の 3 ヵ月後、いずれか長いものとなります

6 この保証規約は予告無く変更されることがあります

7 本規定は上記の規定基づき修理換対応をするもので法律上の権益を制限するものではありませ

製品保証書

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。
保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。本機をお買い上げ販売店までお持ちください。
なお、本機の修理や点検等の場合において、当社の都合により本機を代替品に交換することにより修理に変えさせていただく場合があります。
当社が修理等のためお客様からお預りした本機を協力工場に引渡す際、故障現象の確認のため個人情報の一部に接する場合があります。
予めご了承ください。なお、個人情報に接した場合は厳正に管理し、漏洩のないよう万全を期しております。

商品名　　:3D書画カメラ

型番　　:3R-SSA800AF

保証期間　　:お買い上げ日より 12ヶ月

購入日:

販売店記入欄

スリー・アールシステム 株式会社
3R SYSTEMS CORP
詳しくはWEBまで
本社／〒812-0893 福岡市博多区那珂5丁目8番11号
サポートアドレス：info@3rrr.co.jp　ホームページ　http://3rrr-btob.jp/
TEL:092-441-4056　FAX:092-441-4077

MADE IN CHINA

●注意
本書中の一部の商品写真、画面写真は説明のため編集を行っております
本書に記載された弊社以外の商品名、サービス名は各社の登録商標です